



「ぼくの わたしの すきな 本」



(出版社：講談社)

こんな本だよ

むかしむかしのインドにうさぎときつねとさるのニびきがくらして
ました。ある日おじいさんがおながすいてたおれていました。だから
ニびきはたべものをとりにいったけどうさぎはたべものを見つけれず
自分をたべてもらおうと火にとびこんでうさぎがいのにニびきが大き
しました。だからかみさまが月にもっていききました。

この本のところがすきー！

ぼくにもニびきのやさしい気もちがつたわりました。うさぎがしんで
大きすぎるぐらいなかよしなともだちがいていいなと、おもいます。う
さぎがつきでダンスをしているなんて、えを見ないでもかわいいとおも
いました。

本の名前

月のうさぎ

本を書いた人

瀬戸内 寂聴

つき
月でダンスをしているうさぎ、かわいいだけでは
なかったね。それぞれの動物たちのやさしさと
やるせなさが伝わってくるね。

